

何かと出会って 新たな発見

暮らしほっとワーク

—バリアフリーへのかけ橋—

Vol.15

MARCHI 2002



今号の
CONTENTS
もくじ

使ってみて!おすすめ福祉用具… P2~3
新ネタ発信…………… P4
介護教室レポート…………… P5

お困り事相談室…………… P6
リサイクル相談事業部より… P7
お知らせ…………… P8

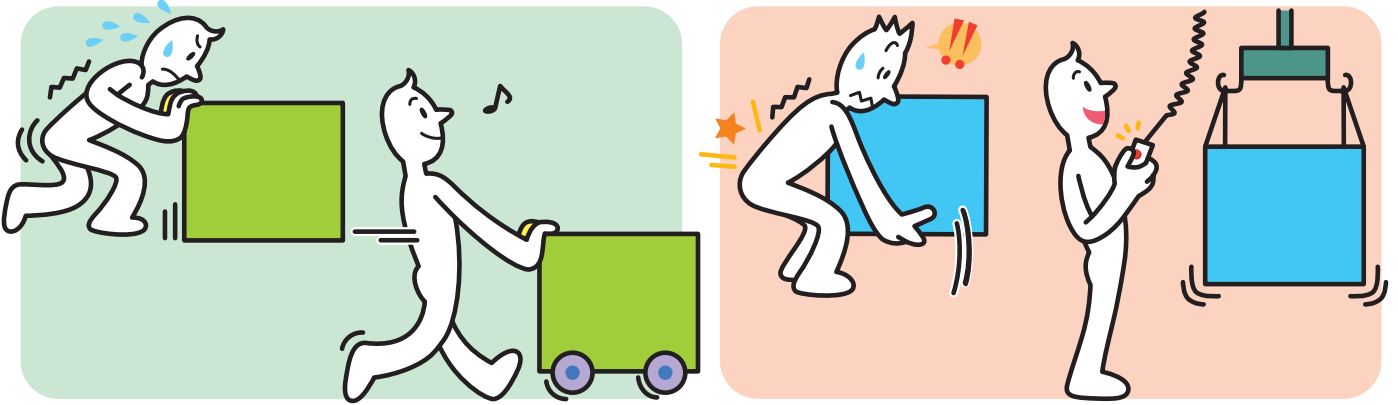
使ってみて!

おすすめ福祉用具

介護保険でレンタルできる生活の便利道具

その3 介護用リフト (ベッド編)

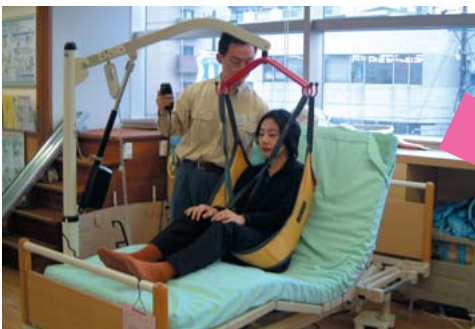
～持ち上げることを助けるリフト～



移動を助ける車輪は、車いすという形で一般に普及していますが、持ち上げることを助けるリフトは、福祉用具として広く知られているとはまだまだ言えない道具の一つです。しかし、年々進歩している福祉用具のなかでも特にリフトは格段に使い勝手が良くなっています。「病院や施設で使っていないから」とか「リフトは使えないと人に言われたから」と導入をあきらめていませんか？ まずは、リフトで吊って、リフトに吊られる体験をしてみてください。きっと「こんなに簡単で、こんなに快適！」と思われることですよ

1. ベッド固定型リフト

● ベッドに固定して設置するリフトです。ベッドと車いすを置くスペースがあれば設置可能です。



◀ ベッドの背もたれを起こして吊り上げているところです。



▲ 肩を抱きかかえて移動します。揺れることなく安心です。



▲ 車いすに深く腰掛けることもリフトであれば簡単です。



◀ ベッドに寝たままの姿勢から吊り上げることもできます。この場合は、頭まである吊り具を用います。

す 2. 据え置き型リフト

●支柱を床に置くだけなので設置工事の必要がありません。また、ベッド周りの介助スペースを広く取ることができます。※支柱が家具や扉などの邪魔にならないかの注意が必要で

■線移動型

2本の柱で支えたレールの間を移動することができます。

据え置き型リフトは、ベッドだけでなく布団での利用もできます。▶



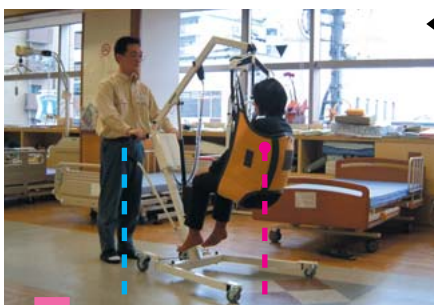
■面移動型 4本の柱で支える面移動型は、柱の内側であればどこにでも移動できます。



▲ベッドから部屋の隅のいすへの移乗もスムーズに行えます。

3. 床走行リフト

●車輪がついて移動できるタイプのリフトですが、移動範囲は部屋内に限られます。板張り等の硬い床での使用を想定していますので、畳やじゅうたんの上では動かしづらくなります。



◀動かすときは、吊られている人を中心にしてリフト操作をする介護者側が動くようにすると揺れが少なくなります。
※ベッド周りに広いスペースが必要です。

ベッドの下にリフトの脚部が入る空間が必要です。▶



移動

中心移動なし



紹介したリフトは、介護保険サービスの「福祉用具の貸与（レンタル）」の対象です。

また、吊り具は同サービスの「福祉用具の購入費の支給」の対象ですので、購入費の1割の負担で手に入られます。

試用のご相談や制度の利用など、詳しくはなごや福祉用具プラザまでお問い合わせください。



新ネタ発信

なごや福祉用具プラザ 新製品展示のご紹介

プラザでは2ヶ月に1度、新製品展示の選定をおこなっております。

福祉用具は様々な工夫や新しい機能が増えています。

一度ご覧になってお確かめください。

- ① 参考価格
- ② 特徴

試用体験や製品に関するお問い合わせは、なごや福祉用具プラザのカウンターまでどうぞ。



ユニバーサル食器



- ① 1,000~2,600円
- ② スプーンの置き場や、すくい易さに配慮した形状(デザイン)です。和洋中を問わず使うことができ、また暖かみのある色合いと手触りの陶器です。

車いす固定装置



- ① 100,000円
- ② 車いすに乗車したまま車内に固定できる装置です。フック付きワイヤーを車いすのフレームに掛け固定します。



補高便座



- ① 20,000円
- ② 便座の高さを5cm補高する部材です。この部材の上に従来の便座を置いて使います。高さを補った後もウォッシュレット等を使い続けられます。



ハンドバー



- ① 25,000円
- ② デザインやカラーコーディネートが楽しめる手すりのシリーズです。

ユニフリード



- ① 125,000円
- ② ドアは上部の戸車で吊っているため軽く、またレールがないのでつまずきを防止できます。

マイメイト

- ① 348,000円
- ② 音声ガイダンスで電動車いすの操作を案内してくれます。



シャワチェアグリップ付(背もたれ付)

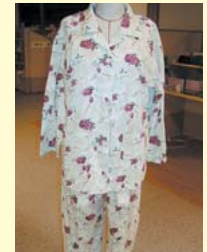


- ① 23,000円
- ② 長めのグリップ(肘掛け)立ち上がりを助けてくれます。座面の高さは5段階で調整可能。クッション付。



ラ リテーラ

- ① 9,800円/
12,000円
- ② パジャマ風に見えて中はオーバーオール(つなぎ)タイプ。腕ファスナー付き。脚部はファスナーで全開可能。後ろ身に縫い目がなく着心地の良い寝衣です。



ニューコンフォート(座位保持機能付モジュラー車いす)



- ① 400,000円
- ② 正しい姿勢で心地よく座ることができるように、使う人に合わせて調整できる車いすです。姿勢変換機能付き。

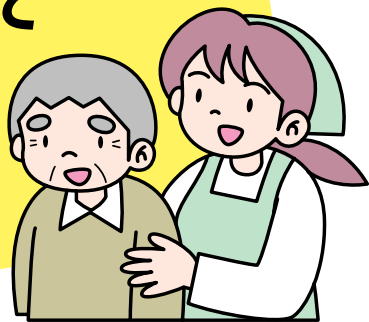
サポートリフト

- ① 173,000円
- ② ベッドから車いす等への乗り移りを、少ない労力と簡単な手順で可能にします。コンパクト設計で場所をとりません。



介護者教室レポート

介護者教室って
どんなことを
しているの？



介護者教室は、名古屋市の委託を受け市内各地で実施している一般市民向けの無料講座です。「痴呆症の方の介護」「福祉用具の活用法」など4日間コースが8シリーズ、「リラクスのためのアロマセラピー」「健康体操」など1日コースのものは12テーマほど実施しています。今回は、熱田区で開催した「寝たきりをふせぐ」シリーズから一場面を紹介します。

「ベッドから離れよう～お年寄りの意欲を引き出す介護～」



講師の糸柳尚子さん

於：熱田区在宅サービスセンター研修室

「寝たきりをふせぐ」をテーマに、第1回(1/8)は「寝たきりはなぜいけないの?」、第2回(1/24)は「床ずれとスキンケア」、第3回(2/7)は「骨折に気をつけよう～原因と予防」の講座が行われ、2/21(木)「ベッドから離れよう～お年寄りの意欲を引き出す介護～」は第4回目目で4日間コースの最終日でした。講師は、日本福祉大学高浜専門学校講師の糸柳尚子さんに担当頂きました。

糸柳さんの講義は深く心に染み込む内容でした。病気や障害があっても、納得して生きられる「生活」をつくりだすことが大切であるということ、そしてお年寄りの意思や希望を確かめ(くみ取り)、それを尊重することの大切さを改めて思い起こすことができました。確かに老いを経験しない者にとっては、お年寄りの心の有様はなかなか解りにくいものです。表に現れる言動だけでなく、言葉や事態の裏(心の奥底)にある、お年寄りの思い、感情を汲み取り、それを受け入れて対応することが意欲を引き出すことにつながっていく…など多くの事例とともに沢山のお話を聞かせていただきました。

参加された多くの方々から、「介護をしていく中で一番大切なことを忘れていたような気がします。講座に参加して改めて大切なことを思い出すことができました。」などの感想を頂き、好評のうちに終了することが出来ました。

日々の中では見失ってしまいがちなこと…ほんの少しの気づき…。介護者教室をきっかけに何かを得て頂ければ、私達、なごや福祉用具プラザのスタッフもうれしいです。

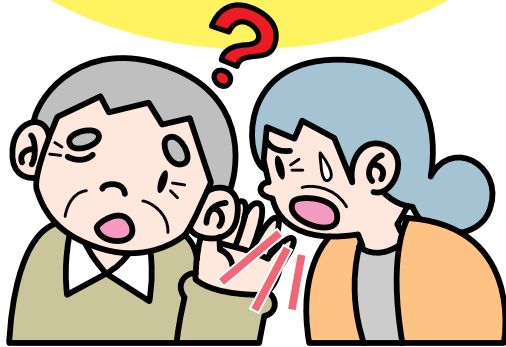
平成14年度の介護者教室も引き続きご参加をお待ちしております。

「年をとるってどういうこと?お年寄りとの接し方と生活の工夫」(熱田区)、「介護のホント、智恵とわざ」(天白区)、「介護のヒント～美味しい食事、安全な食べ方～」(名東区)、「痴呆症の方の介護」(西区)など、今年も16区各地で介護者教室を開催します。お楽しみに。

介護者教室に関するお問い合わせは、なごや福祉用具プラザまで。

TEL 052-851-0051 FAX 052-851-0056

プラザ お困りごと 相談室



プラザはこんな紹介をしました。



- 専門医に行って診察を受けるようにとお伝えするとともに、操作が簡単な道具もいくつかご紹介しました。聴覚補助用具は、耳にあてるだけで相手の声や周囲の音をよく聞き取れるように助ける道具です。
- テレビについては、テレビ自体の音量を大きくしなくても、音声が入元でハッキリ聞こえる耳もとスピーカーを紹介しました。

その後、ご使用状況についてご夫婦にお尋ねしました。

大事な用件など、どうしても聞いてもらいたい話の時は補助用具があって助かります。大きな声を出すことも少なくなって楽になりました。

またテレビの音量を上げずに皆で一緒にテレビが楽しめるようになりました。

とうれしそうに話してくださいました。

先頃、75歳の夫と暮らしている70歳の女性からこんな相談がありました。

最近夫の耳が少し遠くなりました。聞こえやすくする用具はないでしょうか？

それから、テレビの音量も大きくして観ているので、遊びに来る孫と一緒に過ごすことを嫌がるようにもなりました。どうしたらいいでしょうか？

ご夫婦はお二人暮らし。夫に話しかけても返事の無いことが多く、初めのうちは、何か面白くない事があって聞こえない振りをしているのかと相談者の女性は思っていたとのこと。知らん顔の夫には大きな声で話しかけねばならず、まるで怒鳴り合っているかのようでストレスがたまっていたそうです。しかし夫の様子をよく見ていると、聞こえないのは妻に対してだけではなく、近所の人と会話する時もよく聞き返しており、話が通じていないことが多いようなのです。

また、テレビの音量はかなり大きく、騒音で近所に迷惑をかけてしまっているのでは…ともご心配の様子でした。

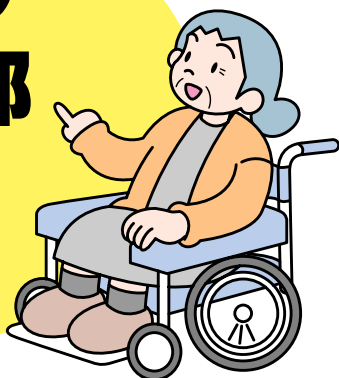


その他

下記のようなご相談もお気軽にどうぞ。

- ・ 電話の呼び出し音に気がつかない。
- ・ 電話の相手の声がよく聞き取れるようなものはないか？
- ・ 音量や音程の調節機能がついた電話機はないか？
- ・ 携帯電話の音量が大きくなるものはないか？
- ・ 補聴器対応の電話はないか？
- ・ 観劇や会合の時に音声をはっきり聞こえるものはないか？

リサイクル 相談事業部 のコーナー



●身体にあった福祉用具を その場で手配できます!

なごや福祉用具プラザは、1200点を越える福祉用具の展示の中から、自分にあった用具を見つけるために、実際に手に取ったり、専門家のアドバイスを受けながら試したりすることができます。そして、相談の上決まった福祉用具は、その場で購入やレンタルの手配ができます。介護保険のレンタル品の手配などもケアマネジャーさんと連絡を取りながらお手伝いさせていただきます。

より自分にあった福祉用具を利用することで、身体がより楽に、生活はより便利になります。ぜひ、なごや福祉用具プラザのご購入相談コーナーをご利用下さい。

●福祉用具のリサイクル品情報が たくさんあります!



電動ベッドや、車いす、入浴用品など、様々な福祉用具の「譲りたい」「譲ってほしい」という情報を登録していただき、条件のあう方同士をご紹介します。

●これまでご登録いただいている主な福祉用具

- ・電動ベッド
- ・車いす



- ・ポータブルトイレ
- ・シャワーいす
- ・移動用リフト
- ・電動三輪車
- ・床ずれ防止用エアーマット
- ・福祉車両など



●福祉用具のリサイクル情報が得られる場所・メディア

- ・なごや福祉用具プラザ内の掲示板、リサイクル相談コーナー
- ・朝日新聞の朝刊(毎週金曜日)
- ・インターネットホームページ(毎月1日更新)
<http://www.ipc-tokai.or.jp/~aju/recycle/new.html>
- ・各区役所、保健所、社会福祉協議会(毎月1日に最新情報を送っています)
- ・情報誌「AJU福祉情報誌」(隔月発行)・「朝日新聞地域交流誌BAN」(毎月発行)

●最新情報FAXサービス

福祉関連団体を対象に、リサイクルの最新情報を毎月1回FAXでお届けしています。ご希望の団体は、下記へご連絡下さい。

バリアフリーな宿情報、交通機関、福祉制度情報等々、お気軽にお問い合わせ下さい。

AJU自立生活情報センター

昭和区御器所通3-12-1 御器所ステーションビル3F なごや福祉用具プラザ内

TEL052-851-0059

FAX052-851-0159

E-mail aju-inc@pop21.odn.ne.jp



2002 5/24日(金)~26(日)
ウェルフェア2002のご案内

Welfare 2002



今年で第5回となります国際福祉健康産業展「ウェルフェア2002」(主催:名古屋市国際見本市委員会、(社)名古屋市総合リハビリテーション事業団なごや福祉用具プラザ)が、5月24日(金)から26日(日)の3日間、ポートメッセなごや(名古屋市国際展示場)で開催されます。(午前10時~午後5時まで)

この催しは、中部地区最大規模で行われる福祉・健康に関する展示会です。高齢者社会が進む中で、今後一層ニーズが高まると予測される福祉用具を中心に、福祉・健康に関する製品やサービスを一堂に展示し、関連産業の育成・振興を図るとともに、バリアフリー社会の実現に資することを目的としています。

名古屋市内より会場までは直通シャトルバスを運行しますので、ぜひこの機会にお出かけください。

お問い合わせ先:
名古屋国際見本市委員会事務局
〒460-0008
名古屋中区栄3-18-1
デザインセンタービル6階
TEL 052-265-2755
052-238-5655
FAX 052-238-5657
URL
<http://www.u-net.city.nagoya.jp/welfare/>
E-mail
nitfc@u-net.city.nagoya.jp

ウェルフェア2002になごや福祉用具プラザも出展します!

ウェルフェア期間中は、福祉用具プラザの職員・技術ボランティアが3日間毎日交代でポートメッセなごやに出向きます。今号では毎年大活躍の「NFP技術ボランティア」の皆さんを紹介します。



■パソコングループ

パソコンの入力を助ける装置やインターネットなど、身体に障害のある方が使いやすい機器や方法などについて体験ができます。パソコンや入力装置の選び方についてもご相談をお受けします。

■自助具グループ

自助具など便利道具の作り方を実演し

ます。もちろん、あなたに合う自助具の製作相談もお受けします。

■被服グループ

お手持ちの服を脱ぎ着しやすいように、また着心地の良いようにリフォームします。これまでリフォーム制作した衣類の展示はもちろん、ご相談もお受けします。

その他にも催し物は盛りだくさん!

<福祉用具や介護の相談コーナー>

福祉用具の選び方や使い方、介護の方法などの相談をお受けします。

<自助具・生活便利グッズの紹介>

様々な生活場面で活躍する自助具等を展示・紹介します。もちろん用具はお試し頂けます。

<介護教室>

ベッドから車いすへの乗り移りなど介護講座を開催します。また、福祉用具を実際に試して頂けるような講座も企画しています。



社会福祉法人 名古屋市総合リハビリテーション事業団

なごや福祉用具プラザ

〒466-0015 名古屋市昭和区御器所通3丁目12-1

御器所ステーションビル3F

TEL (052) 851-0051

FAX (052) 851-0056

電子メール nrc4@japan-net.ne.jp

ホームページ <http://www.japan-net.ne.jp/nrc/plaza/>

●営業時間/AM10:00~PM6:00

●営業日/火曜日~日曜日

●休業日/月曜日・祝日・年末年始(月曜日が、祝日にあたる日は翌日も休みになります)



この広報誌は再生紙
(古紙配合率100%)を
使用しています

暮らしほっとワーク第15号

発行日/平成14年3月15日

編集・発行/なごや福祉用具プラザ

